

令和4年度

学校法人北照高等学校 学校評価書

学校法人 北照高等学校
理事長（代理） 小路 修司 様

令和4年度学校関係者評価を、教員自己評価・校務分掌、学年の自己評価・生徒質問票による自己評価分析結果に基づき下記の通り取りまとめましたので報告いたします。

1. 学校関係者評価の実施について

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、理事役員会及びPTA総会を中止にしたため、下記役員に文書を回覧し、学校関係者評価を行った

- ① 学校法人北照高等学校理事・評議委員会の役員
- ② 北照高等学校PTA役員

2. 評価項目と評価内容

① 教育活動について

令和3年度と比較し、新型コロナウイルスが学校生活全般に及ぼす影響を低く抑えられ、行事や部活動を行う時間を確保できたこと、プロジェクトの発表会をより発展した形で実施できたことなどの評価できる点がみられた。一方で、新カリキュラムの開始に伴ったICTの導入や進路決定後の指導などの問題点も報告されている。特に、令和3年度に発生した「いじめ」が「重大事態」に発展したことにより、生徒及び保護者に大きな不安を与えてしまったことは、由々しき事態と捉え、真摯に取り組んで欲しい。生徒に対する講話や教員研修に力を入れて取り組んだと報告されているが、継続的に取り組み、これを機に「いじめ」のない学校として、生徒や保護者はもちろん、地域からも評価される学校へ変わる努力をして欲しい。

令和4年度は良好な状況を保つことができた部分が多かった一方で、大きな課題も見つかった年度であった。このことを鑑みて令和5年度は、設置している2コースそれぞれの課題を再度見つめ直し、学校を大きく改善して行く気持ちで、堅実な教育活動を展開して欲しい。

② 生徒質問票の分析結果について

満足度の数値は、令和2年度から2%ほど低下した令和3年度から、さらに約8%低下している。上昇傾向だった昨年度までから下降してしまい、満足度の平均値が2%ほど下がってしまった。一方で、教職員の評価は向上しており、①で挙げたように学校で大きな問題があったことと生徒の評価との間に乖離が生じている。学校全体として、この状況を真摯に受け止めて、学校運営を行って欲しい。

③ 総 評

令和4年度の教育活動を精査した結果、学校改革を進める中で様々な問題が生じ、具体的な現象として現れてしまった年度だったと感じた。このような結果が、生徒の評価の低下という形として現れてしまっているとも推測できる。したがって、令和4年度については不良と判断したい。今年度は今一度教育の原点に立ち返り、真摯に教育活動を行って欲しい。

上記の通り報告いたします。

令和5年5月15日

北照高等学校保護者と教師の会会長

川口 政康

